



“セツルメント”を知ろう!

2008年1月26日(土) 午後3:00～5:00

こうぼうかん

地域福祉の原点 「興望館」に学ぶ

120年前に、英国ロンドンで始まった、福祉実践の方法「セツルメント」。

(貧困など社会的課題を抱えた地域に、教育・医療・福祉・法律などの専門家が常駐し、住民と共に、地域環境や社会制度の改善をはかる活動。その後のグループワーク、コミュニティワークの原型となった。)

その後、アメリカで発展し、日本にもたらされ、戦前のわが国の社会事業に大きく貢献しました。東京・墨田区の「興望館」では、現在もこの方法が継承されています。

セツルメントのような実践活動は、社会の課題がより多様化し、地域福祉における住民参加や自立支援に注目が集まる今日、再び見直される価値のあるものではないでしょうか。

セツルメント実践で名高い「興望館」を実際に訪れて、野原健治館長からお話を伺いながら学ぶ、またとない機会です。どうぞふるってご参加ください。

■ 会 場：興望館 (保育園・児童厚生施設)

東京都墨田区京島1-11-6 (東武亀戸線/京成押上線 曳舟駅5分)

■ 講 師：野原健治さん (興望館館長)

■ 参加費：2500円 (興望館の手作りお菓子付) ■ 定 員：20名

■ 対 象：福祉に携わる方や、関心のある方なら、どなたでもご参加になれます。

■主催・申込：東京ボランティア・市民活動センター(青柳・近江) > TEL03-3235-1171 FAX03-3235-0050

<1/23 までにお申込下さい▶ FAX03-3235-0050、またはホームページ <http://www.tvac.or.jp/> へ>

団体・ご所属名： _____ (団体内での役割： _____)

参加者氏名 (フリガナ)： _____

ご連絡先：(選択して下さい→ 自宅 ・ 所属先) _____ ※主催者より、ご返信いたします。

〒 _____ ご住所： _____

TEL: _____ FAX: _____ E-mail: _____

※ ご記入いただいた個人情報は主催者が適切に管理し、市民活動に関する研修等事業のご案内に利用させていただきます。個人情報の取扱いに関する方針はホームページ(<http://www.tvac.or.jp/>)をご覧ください。

「セツルメント Settlement」とは？

貧困など社会的課題を抱えた地域に、教育・医療・福祉・法律などの専門家が移り住んで（または常駐して）、住民と共に、地域環境や社会制度の改善をはかる活動、またその拠点となる施設。その後のグループワーク、コミュニティワークの原型となった。隣保（りんぼ）事業、隣保館ともいう。

1884年、英国ロンドンのトインビー・ホールが、初のセツルメント会館。その後アメリカで発展し（シカゴのハル・ハウスなど）、日本では1897（明治30）年、片山潜が神田にキングスレー館を開設したのが始まりといわれる。

「興望館」について

（興望館のパンフレットより抜粋）

興望館は、1919（大正8）年、セツルメントとして、東京の下町で事業をはじめました。当時、墨田区は、東京の中でもっとも人口の密集した、貧しい地域でした。

セツルメントとは、地域の人々と共に、福祉課題をとらえ、その解決のための実践をしていくことを目的としたものです。米国シカゴにあるハルハウスという施設にならい、北米・カナダの宣教師たちによってもたらされました。

セツルメントの考え方は、現在も興望館の児童養護施設、保育園、児童厚生施設の運営の土台になっています。

興望館は、多様な福祉の活動や行事を通して、乳幼児から青年、高齢者まで幅広い世代が会う小さなコミュニティを目指しています。

＜興望館 現在の事業内容＞

地域活動部

児童養護施設 沓掛学荘

保育園

- 児童厚生施設（学童クラブ）
- 教室活動（ピアノ・野球・茶道）
- 年輩者プログラム
- イベント
- ボランティア／海外研修生の受け入れ
- キャンププログラム
- 中学生クラブ

